

# 平成26年3月期 決算説明資料

- I. 平成25年度 連結決算概況
- II. 平成26年度 連結業績予想



亜鉛精鋇荷揚げ（福島県・小名浜埠頭）

## I. 平成25年度 連結決算概況

1. 当決算期の概況（連結）	.....p3 ~p4
2. セグメント情報	.....p5~p10
3. 連結貸借対照表	.....p11~p12
4. 連結損益計算書	.....p13
5. 連結キャッシュ・フロー計算書	.....p14
6. 設備投資・減価償却	.....p15
7. 有利子負債残高	.....p15
8. 財政状態	.....p16

## II. 平成26年度 連結業績予想

1. 連結業績予想	.....p17
2. セグメント別業績予想	..... p17
3. 前提条件	..... p17

### (参考資料)

1. 世界の亜鉛・鉛の需給推移	.....p18
2. 国内の亜鉛・鉛の需給推移	.....p19
3. 亜鉛・鉛の価格と在庫の推移	.....p20
4. 亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要	.....p21
5. 製錬事業の収益構造	.....p22
6. 製錬業界における当社の位置	.....p23
7. 主要製品の用途と売上の推移	.....p24



## 1. 当決算期の概況（連結）（1/2）

- (1) 連結売上高は1,186億2千万円と前年度に比べ14%の増収となった。本格稼動したCBH社のラस्प鉱山が年間を通じて売上に寄与したことと、亜鉛・鉛・銀の販売量の増加によるところが大きい。

LME価格は前年を下回って推移したものの、大幅な円安による国内金属価格の上昇、ラस्प鉱山の減産を始めとする収支改善による資源事業の赤字縮小により、営業利益は57億5千万円と増益。

豪ドル安による、CBH社に対する豪ドル建貸付金と同社の米ドル建借入金の為替評価損失などにより、経常利益は44億3千万円と減少するも、純利益で16億7千万円と赤字を脱し、鉱山の減損損失を計上した前年度に比べ大幅な改善となった。

(単位：億円)

	11月修正計画	実績	修正計画比	前年度比
売上高	1,190.0	1,186.2	△0.3%	+14.4%
営業利益	35.0	57.5	+64.3%	+975.0%
経常利益	24.0	44.3	+84.6%	+68.0%
当期利益	2.0	16.7	+735.0%	—



## 1. 当決算期の概況（連結）（2/2）

(2) 製錬事業は銀相場下落があるものの、亜鉛・鉛・銀の増販と円安による国内価格の上昇により増収、増益となった。

(3) 資源事業はエンデバー鉱山が順調な操業を続け、ラスプ鉱山が年間を通じて売上に寄与したことで大幅な増収。また、豪ドルが米ドルに対し安く推移したことと、減産を中心とする収益改善により赤字幅を縮小した。

(4) 電子部材事業は、プレーティングが前年並みの売上に留まるものの、需要の回復により、電子部品は車載電装向けに、電解鉄は車載用特殊鋼向けにそれぞれ売上を伸ばし増収、増益となる。

環境・リサイクル事業は主力の酸化亜鉛がタイヤ向けに売上を伸ばし、その他リサイクル事業も順調で増収、増益。

その他事業部門は防音建材事業、土木・建築事業、運輸事業が増収となるも、土木・建築事業、運輸事業などの利益率低下により前年度並みの利益に留まった。



## 2. セグメント情報 (1/6)

## 売上高

(単位：百万円)

	24年度	25年度	増 減	%
製錬事業	71,018	80,078	9,059	12.8
資源事業	11,034	14,085	3,051	27.7
電子部材事業	6,463	6,803	340	5.3
環境・リサイクル事業	4,341	4,909	568	13.1
その他事業	10,797	12,742	1,945	18.0
計	103,654	118,619	14,965	14.4

## 営業利益

(単位：百万円)

	24年度	25年度	増 減	%
製錬事業	1,521	4,341	2,820	185.4
資源事業	△3,375	△1,664	1,710	—
電子部材事業	773	999	225	29.2
環境・リサイクル事業	650	959	309	47.5
その他事業	1,109	1,076	△32	△2.9
消去	△144	38	182	—
計	534	5,749	5,215	975.0



## 2. セグメント情報 (2/6)

### 亜鉛

販売量 115千 t (前年同期比 +7%)  
 売上高 255億円 (前年同期比 +25%)

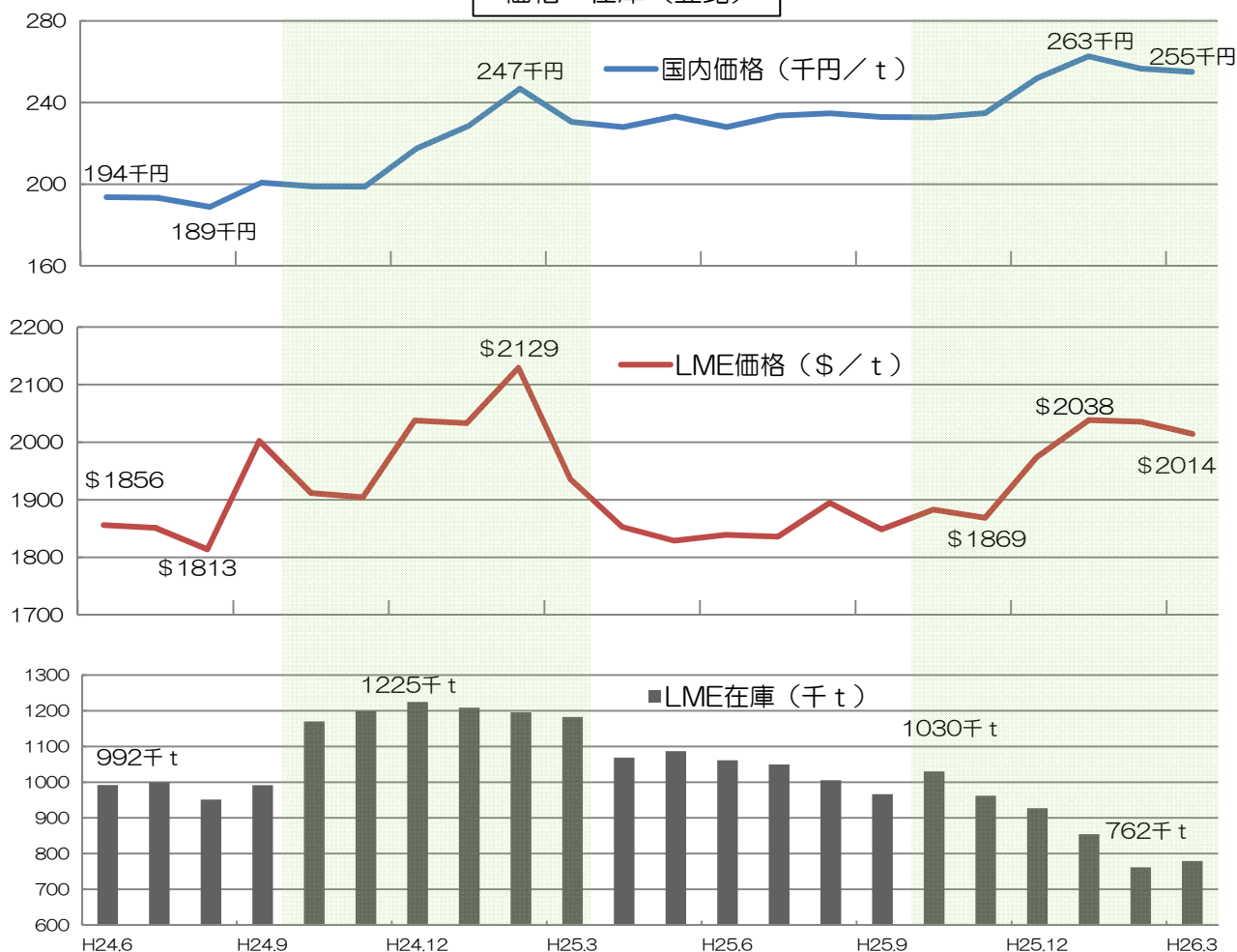
2013暦年の世界の亜鉛消費は、中国及び他のアジア地域での大幅増により+4.8%の増加。一方生産は、昨年落ち込んだ中国が回復し、欧州・米国は横ばいで+2.1%となった。結果、バランスは当初の供給過剰の見込みから一転、2007年以来6年ぶりの供給不足となった。

LME価格は、4月平均\$1,853でスタートし、以降特に大きな動きもなく11月まで月平均\$1,800台での展開。12月には一時\$2,100台まで上昇したが、1月以降は中国の景気減速やウクライナ問題等により下げ基調で、\$2,000を挟んだ展開となった。期中平均は\$1,910 (前年同期は\$1,950)。

国内需要は、主用途であるメッキ鋼板向けが自動車生産台数の回復と共に増加。一般メッキは復興需要もあり増加、ダイカスト向けも増加した。国内生産は、当社が通常操業に戻したことで増加。かかる状況下、当社は主用途の亜鉛メッキ鋼板向けが堅調に推移し、ダイカスト向け等も順調。

この結果、売上高は販売量増と円高修正による国内価格の上昇で、前年同期比25%の増収となった。

価格・在庫 (亜鉛)





## 2. セグメント情報 (3/6)

**鉛**      販売量 91千t (前年同期比 +3%)  
           売上高 229億円 (前年同期比 +25%)

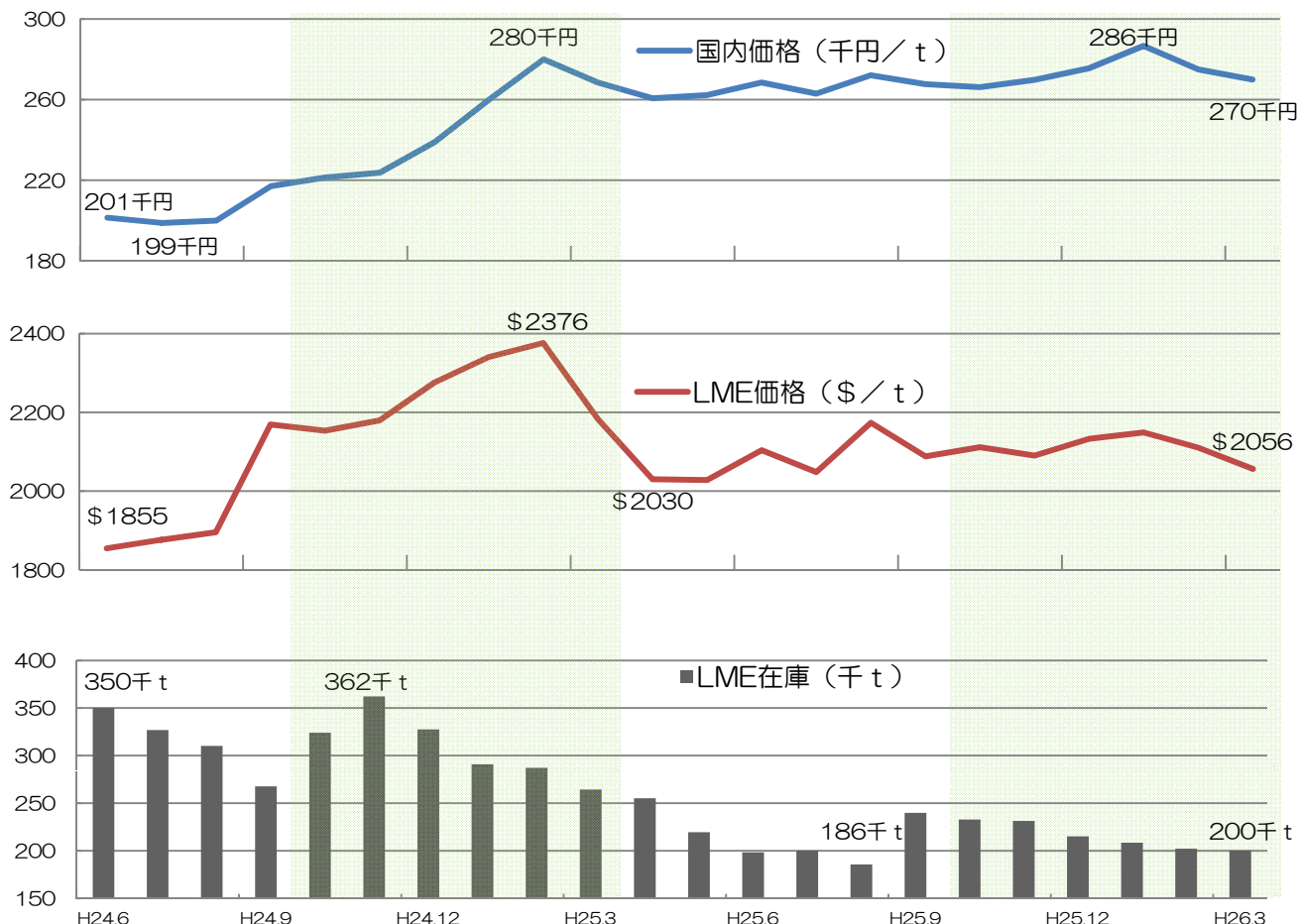
2013暦年の鉛消費は、世界最大の消費国である中国と米国が大幅増となり+7.1%の伸び。生産においても、世界最大の供給国である中国での増産が顕著となり、全体では+6.5%となった。結果、需給バランスは4年ぶりの供給不足となった。

LME価格は、4月平均\$2,030でスタート。夏場・冬場の需要期には一時的に\$2,200台まで上昇したものの、月平均では年間を通して\$2,100を挟んだ展開に終始した。期中平均は\$2,094 (前年同期は\$2,114) となった。

国内需要は、主用途である鉛蓄電池向けが増加するも、無機薬品・はんだ・鉛管板は減少し、全体ではほぼ横ばい。生産は鉱石出増、スクラップ出減で全体では微減となった。

当社は、主用途のバッテリー向けは、自動車生産台数の回復で増販。電線・はんだ・その他の分野は横ばいで推移。結果として売上高は、販売量増と円高修正等で前年同期比25%の増収となった。

価格・在庫 (鉛)





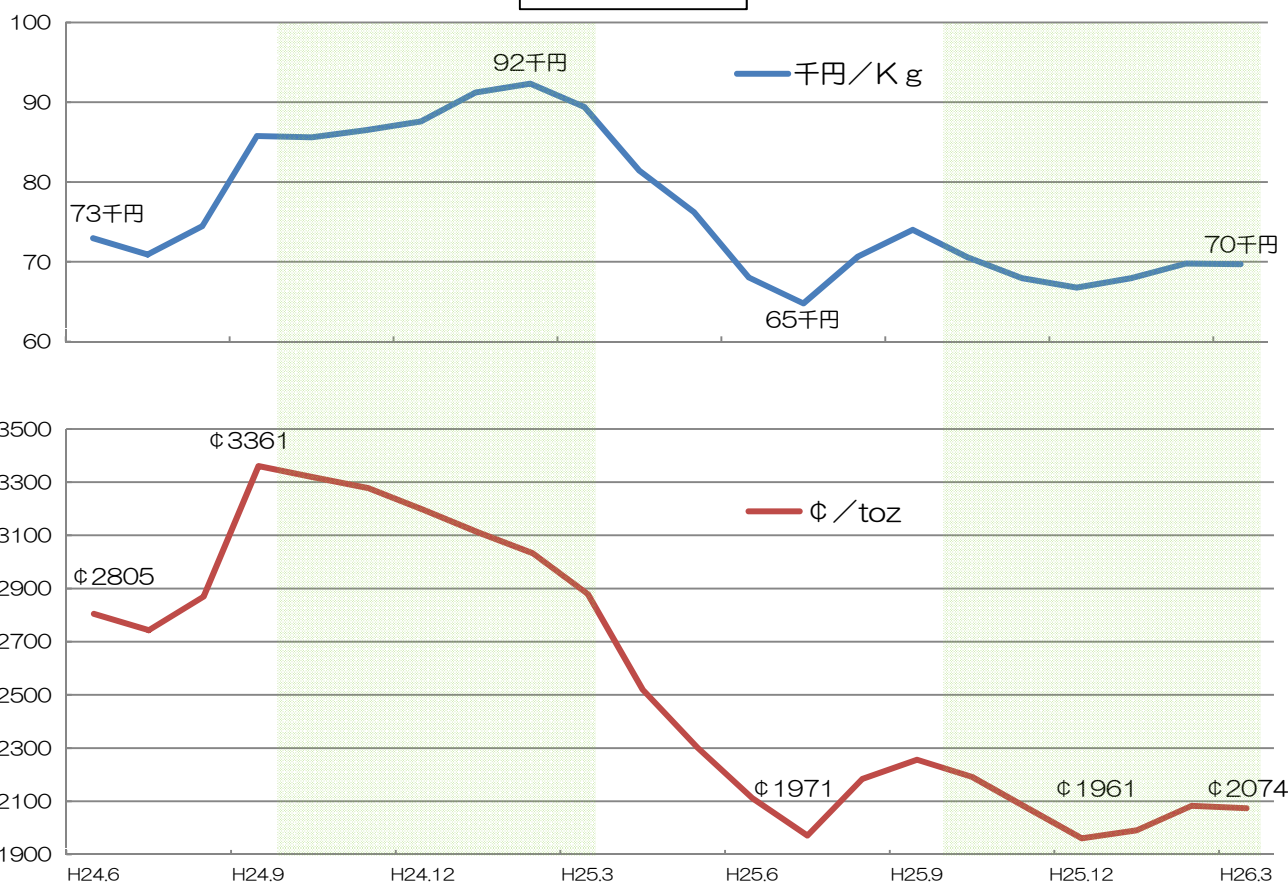
## 2. セグメント情報 (4/6)

銀
 販売量 363 t (前年同期比 +3%)  
 売上高 251億円 (前年同期比△14%)

期初\$25.2でスタートした銀相場は、米ドル高等の影響で下落し、6月には一時\$19を割り込む。シリア情勢の緊迫やウクライナ問題で上昇する局面もあったが、11月以降は\$20を挟んだ展開が続き、3月平均は\$20.7となった。期中平均は\$21.4 (前年同期\$30.5)。

当社の販売は、主用途であるはんだ向けは減少したものの、フィルム・接点等工業用需要は堅調に推移。結果、販売量は増加したが、売上高は相場下落の影響が大きく、前年同期比14%の減収となった。

価格 (銀)







## 2. セグメント情報 (5/6)

### 資源

売上高 141億円 (前年同期比 +28%)

CBH社を擁する当事業部門の売上高は、エンデバー鉱山の安定操業に加え、ラスプ鉱山が年間を通じて操業を行い、精鉱販売量が増加したことから大幅増収となった。

なお、ラスプ鉱山は昨年10月より暫定的に30%の減産を実施しており、収益改善に向け操業体制の立て直しを図っている。

#### ○エンデバー鉱山の生産

	2012年(1~12月)	2013年(1~12月)
粗鉱処理量	719千 t	717千 t
亜鉛精鉱	85千 t	92千 t
鉛精鉱	41千 t	49千 t

#### ○ラスプ鉱山の生産

	2012年(1~12月)	2013年(1~12月)
粗鉱処理量	358千 t	650千 t
亜鉛精鉱	25千 t	49千 t
鉛精鉱	13千 t	26千 t

### 電子部品

売上高 28億円 (前年同期比 +4%)

主用途のうちOA機器向け・産業機器向けは低迷したものの、エアコン向けや車載電装向けが好調に推移し増収となった。

### 電子材料

売上高 33億円 (前年同期比 +4%)

世界のトップシェアを誇る電解鉄については、国内・海外向けともに特殊鋼用途で好調を維持し前年同期比増収。

IT・デジタル機器などの接点に使用されるプレーティング製品については、車載向けは好調であったものの、携帯・スマートフォンやデジカメ等の精密電子機器用途が伸びず減収となった。



## 2. セグメント情報（6/6）

環境・  
リサイクル

売上高 49億円（前年同期比 +13%）

電炉ダストから製造する主力商品の酸化亜鉛（商品名：銀嶺R）は、タイヤメーカー向けの需要が増大し、売上高は前年同期比増収。  
その他リサイクル事業も、処理量が順調に推移したため増収となった。

その他事業

売上高 127億円（前年同期比 +18%）

防音建材事業については、大型病院向けX線遮蔽鉛建材及び一般防音向け制振遮音材が堅調に推移した。

土木・建築・プラントエンジニアリング事業は、土木・建築部門の売上が増加。

運輸部門は、運送荷物とリサイクル原料などの取扱いが増加、商社部門も国内金属価格の上昇があり、それぞれ増収となった。



## 3. 連結貸借対照表 (1/2)

(単位：百万円)

期 別 科 目	25/3末		26/3末		対前期末比 増 減 金額
	金額	構成比	金額	構成比	
「資産の部」		%		%	
I 流動資産	61,384	42.1	62,489	43.1	1,104
現金・預金	11,414		11,493		
受取手形及び売掛金	14,667		13,597		
棚卸資産	31,295		34,864		
繰延税金資産	430		568		
その他	3,576		1,966		
貸倒引当金	△0		△0		
II 固定資産	84,429	57.9	82,525	56.9	△1,903
有形固定資産	54,322	37.3	52,004	35.9	△2,318
建物及び構築物	10,175		9,859		
機械装置及び運搬具	26,221		24,142		
土地・鉱業用地	16,948		16,948		
建設仮勘定	630		740		
その他	347		313		
無形固定資産	23,767	16.3	24,380	16.8	613
のれん	548		527		
鉱業権	23,166		23,808		
その他	52		44		
投資その他の資産	6,339	4.3	6,140	4.2	△198
投資有価証券	4,319		3,769		
長期貸付金	10		10		
繰延税金資産	544		330		
その他	2,221		2,785		
貸倒引当金	△756		△754		
資産合計	145,814	100.0	145,014	100.0	△799



## 3. 連結貸借対照表 (2/2)

(単位：百万円)

科目	期 別		25/3末		26/3末		対前期末比 増 減 金額
	金額	構成比	金額	構成比	金額		
「負債の部」							
I 流動負債	45,951	31.5	46,981	32.4	1,030		
支払手形及び買掛金	6,158		7,050				
短期借入金	22,478		22,478				
1年以内返済予定の長期借入金	2,897		11,225				
コマーシャル・ペーパー	6,000		—				
未払法人税等	2,308		1,311				
引当金	285		320				
その他	5,824		4,596				
II 固定負債	43,269	29.7	38,257	26.4	△5,011		
長期借入金	31,560		27,196				
退職給付引当金	2,191		1,838				
その他の引当金	501		500				
再評価に係る繰延税金負債	5,061		5,061				
その他	3,955		3,660				
負債合計	89,220	61.2	85,239	58.8	△3,980		
「純資産の部」							
I 株主資本	46,179	31.7	47,171	32.5	991		
資本金	14,630		14,630				
資本剰余金	9,876		9,876				
利益剰余金	21,696		22,687				
自己株式	△23		△24				
II その他の包括利益累計額	10,413	7.1	12,603	8.7	2,190		
その他有価証券評価差額金	781		823				
繰延ヘッジ損益	482		73				
土地再評価差額金	8,290		8,290				
為替換算調整勘定	859		3,368				
退職給付に係る調整累計額	—		47				
純資産合計	56,593	38.8	59,774	41.2	3,181		
負債・純資産合計	145,814	100.0	145,014	100.0	△799		



## 4. 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期 (24/4~25/3)	当期 (25/4~26/3)	H26年度計画 (26/4~27/3)
<b>売上高</b>	103,654	118,619	118,000
<b>営業利益</b>	534	5,749	6,800
営業外収益	2,741	1,233	150
(内、為替差益)	(2,214)	(—)	(—)
営業外費用	639	2,554	1,050
(内、為替差損)	(—)	(1,980)	(500)
<b>経常利益</b>	2,636	4,428	5,900
特別利益	86	427	—
(内、投資有価証券売却益)	(80)	(417)	(—)
特別損失	5,290	352	200
(内、減損損失)	(4,930)	(2)	(—)
(内、固定資産除却損)	(278)	(201)	(200)
(内、投資有価証券売却損)	(—)	(146)	(—)
税引前当期利益	△2,568	4,503	5,700
法人税・住民税等	2,741	2,576	1,783
法人税等調整額	△153	255	417
<b>当期利益</b>	△5,156	1,670	3,500

価格	亜鉛：(LME Settlement \$/t)	(\$1,950)	(\$1,910)	(\$2,100)
		千円	千円	千円
	国内価格/t	208.7	240.3	259.4
	鉛：(LME Settlement \$/t)	(\$2,114)	(\$2,094)	(\$2,200)
		千円	千円	千円
	国内価格/t	228.5	269.8	277.7
	銀：(London Fixing \$/toz)	(\$30.5)	(\$21.4)	(\$20.0)
		千円	千円	千円
国内価格/kg	83.0	70.7	67.4	
	円	円	円	
為替相場：¥/\$ (TTM)	83.1	100.2	103.0	

# I . 平成25年度 連結決算概況



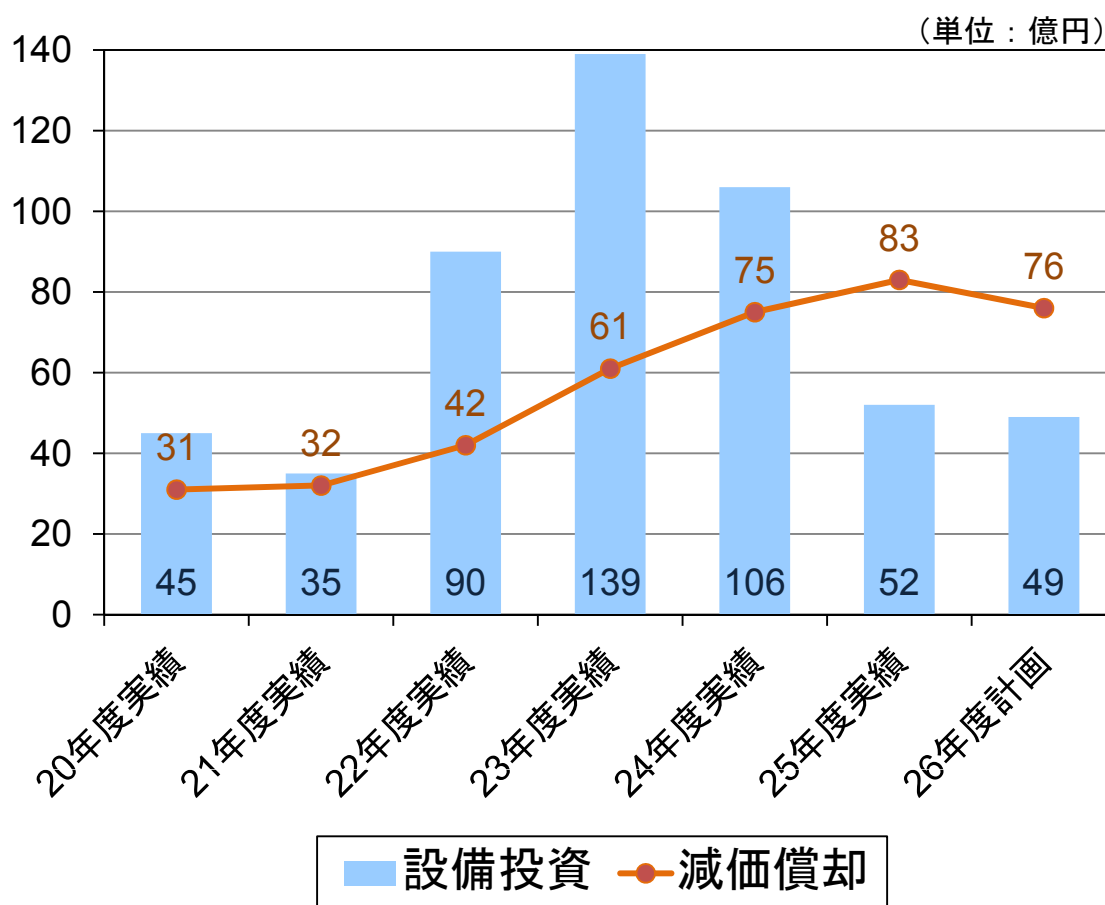
## 5. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前期 (24/4~25/3)	当期 (25/4~26/3)	対前期比 増 減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税前当期利益	△2,568	4,503	7,071
2. 減価償却費	7,490	8,342	851
3. 棚卸資産増減	478	△3,476	△3,954
4. 売上債権増減	1,282	1,172	△110
5. 仕入債務増減	△2,435	1,909	4,345
6. 減損損失	4,930	2	△4,927
7. 利息・配当金の受取額	100	111	10
8. 利息の支払額	△467	△500	△32
9. 法人税等の支払額	328	△3,562	△3,890
10. その他	△2,855	△101	2,754
計	6,283	8,401	2,117
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産取得額	△7,137	△3,406	3,731
2. 無形固定資産取得額	△4,519	△2,163	2,355
3. 投資有価証券の売却・取得額	△5	△4	0
4. その他	380	821	441
計	△11,282	△4,753	6,528
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有利子負債の増減	679	△2,897	△3,576
2. 親会社の配当支出	△950	△678	271
3. その他	△112	△18	93
計	△383	△3,594	△3,211
IV 現金・現金同等物に係わる換算差額	251	24	△226
V 現金・現金同等物の増減額	△5,130	78	5,208
VI 現金・現金同等物の期末残高	11,414	11,493	78



## 6. 設備投資・減価償却



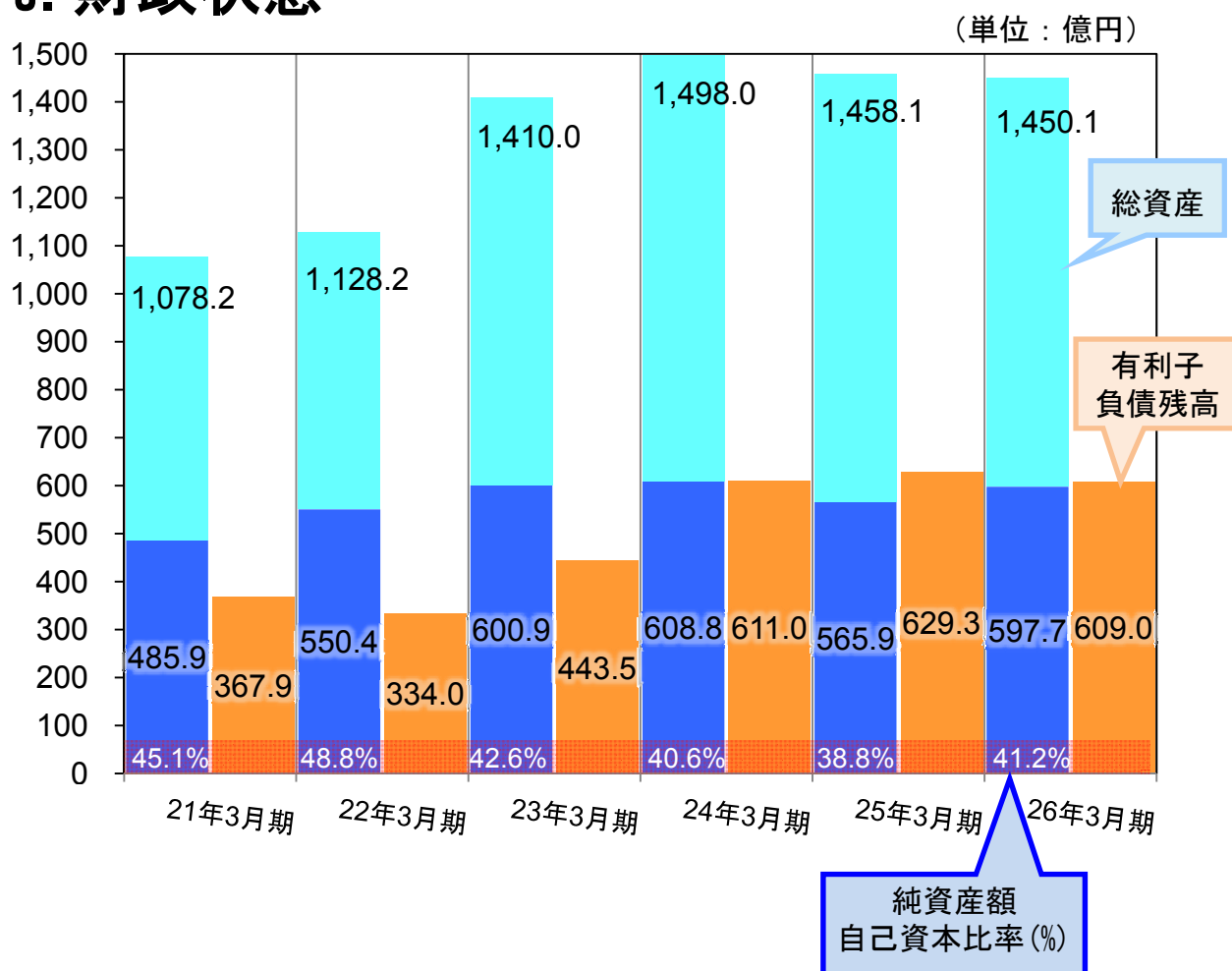
## 7. 有利子負債残高

(単位：百万円)

区分	H25/3	H25/9	H26/3	対前期末比 増減
コマーシャル・ペーパー	6,000	7,000	—	△6,000
短期借入金	22,478	22,478	22,478	—
長期借入金	34,457	33,366	38,422	+3,965
合計	62,935	62,844	60,900	△2,034



## 8. 財政状態



	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期	145,014	59,774	41.2	440.18
25年3月期	145,814	56,593	38.8	416.75

	1株当たり純利益	自己資本純利益率 (ROE)	総経常利益率	営業利益率	高率
	円 銭	%	%	%	%
26年3月期	12.30	2.9	3.0	4.8	
25年3月期	△37.97	△8.8	1.8	0.5	



## Ⅱ. 平成26年度 連結業績予想



### 1. 連結業績予想

%表示は前年同期との増減率

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期	59,500	3,300	2,600	1,400
連結累計期間	△0.1%	67.0%	397.8%	—
通 期	118,000 △0.5%	6,800 18.3%	5,900 33.2%	3,500 109.5%

### 2. セグメント別業績予想

#### ①売上高

(単位：百万円)

	製錬	資源	電子部材	環境・ リサイクル	その他	合計
第2四半期	40,500	7,500	3,600	2,700	5,200	59,500
連結累計期間						
通 期	79,500	15,000	7,300	5,400	10,800	118,000

#### ②営業利益

(単位：百万円)

	製錬	資源	電子部材	環境・ リサイクル	その他	消去	合計
第2四半期	1,800	150	400	600	390	△40	3,300
連結累計期間							
通 期	3,700	350	800	1,150	900	△100	6,800

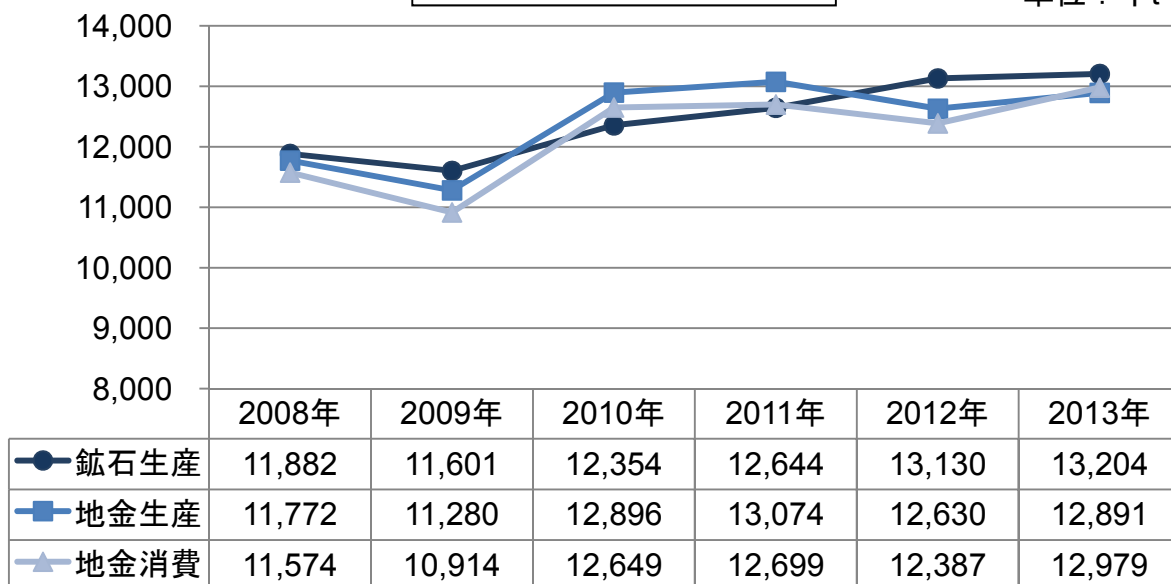
### 3. 前提条件

亜鉛 : (LME Settlement)	\$/t	2,100
鉛 : (LME Settlement)	\$/t	2,200
銀 : (London Fixing)	\$/toz	20.0
為替相場	¥/\$	103.0

# 1. 世界の亜鉛・鉛の需給推移

亜鉛（世界計）

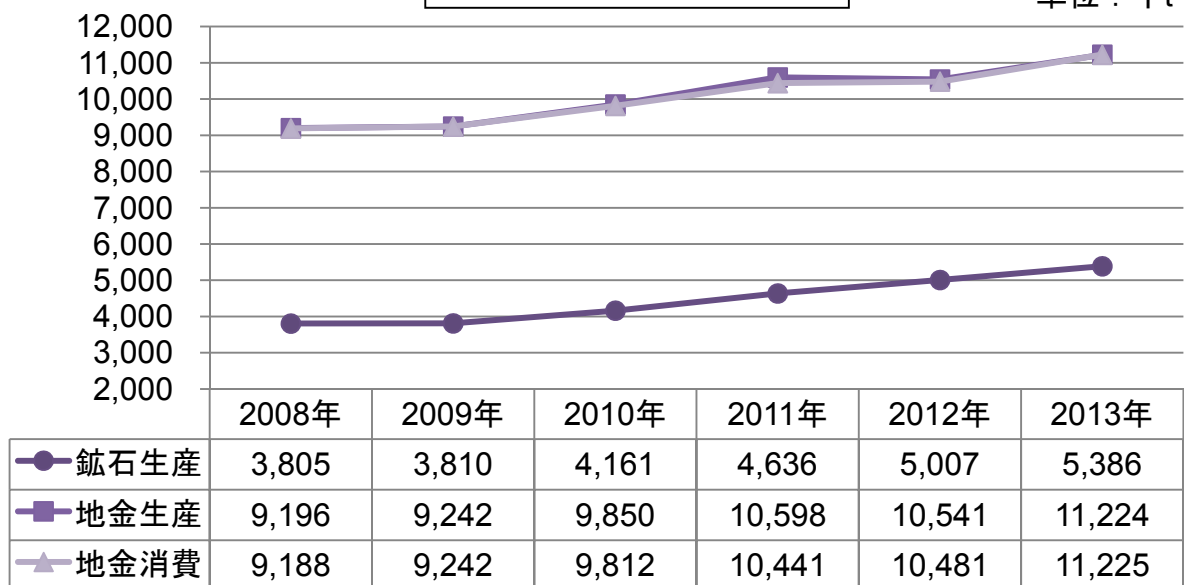
単位：千t



出典 国際鉛亜鉛研究会

鉛（世界計）

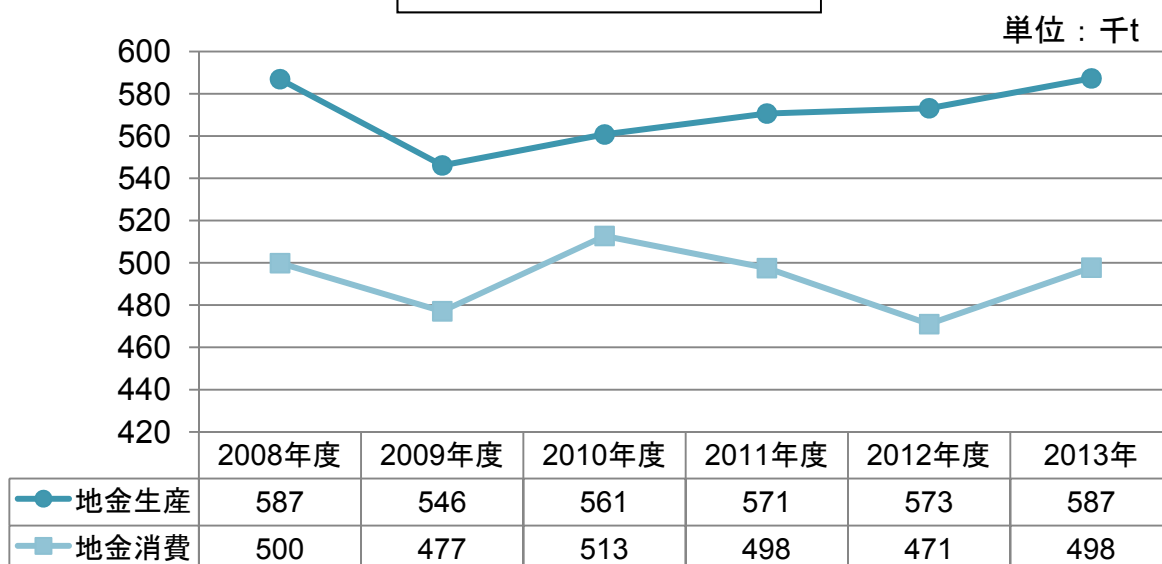
単位：千t



出典 国際鉛亜鉛研究会

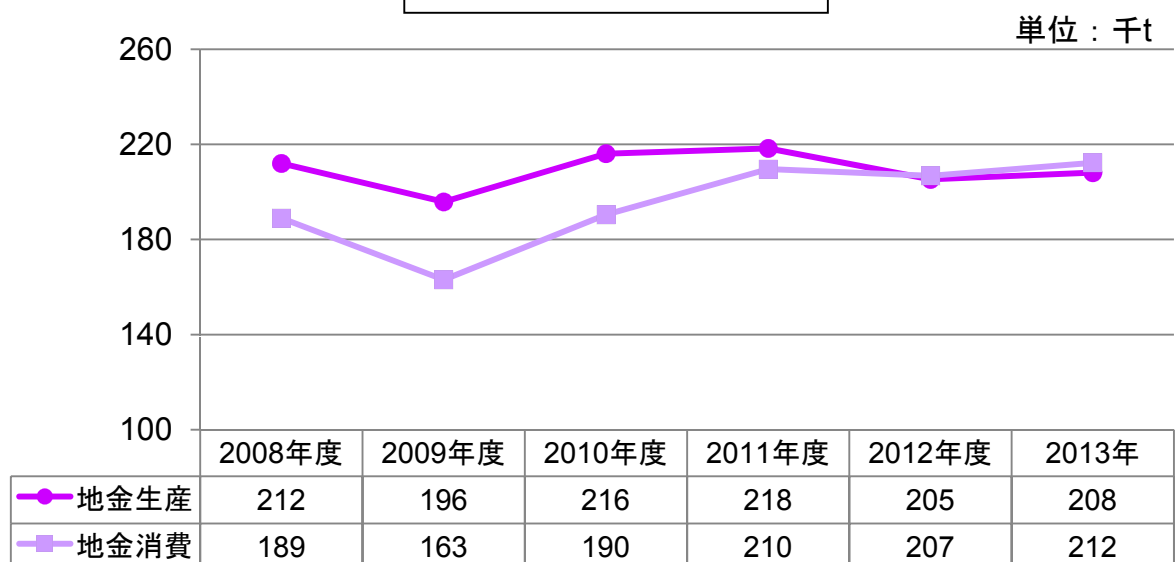
## 2. 国内の亜鉛・鉛の需給推移

亜鉛（国内計）



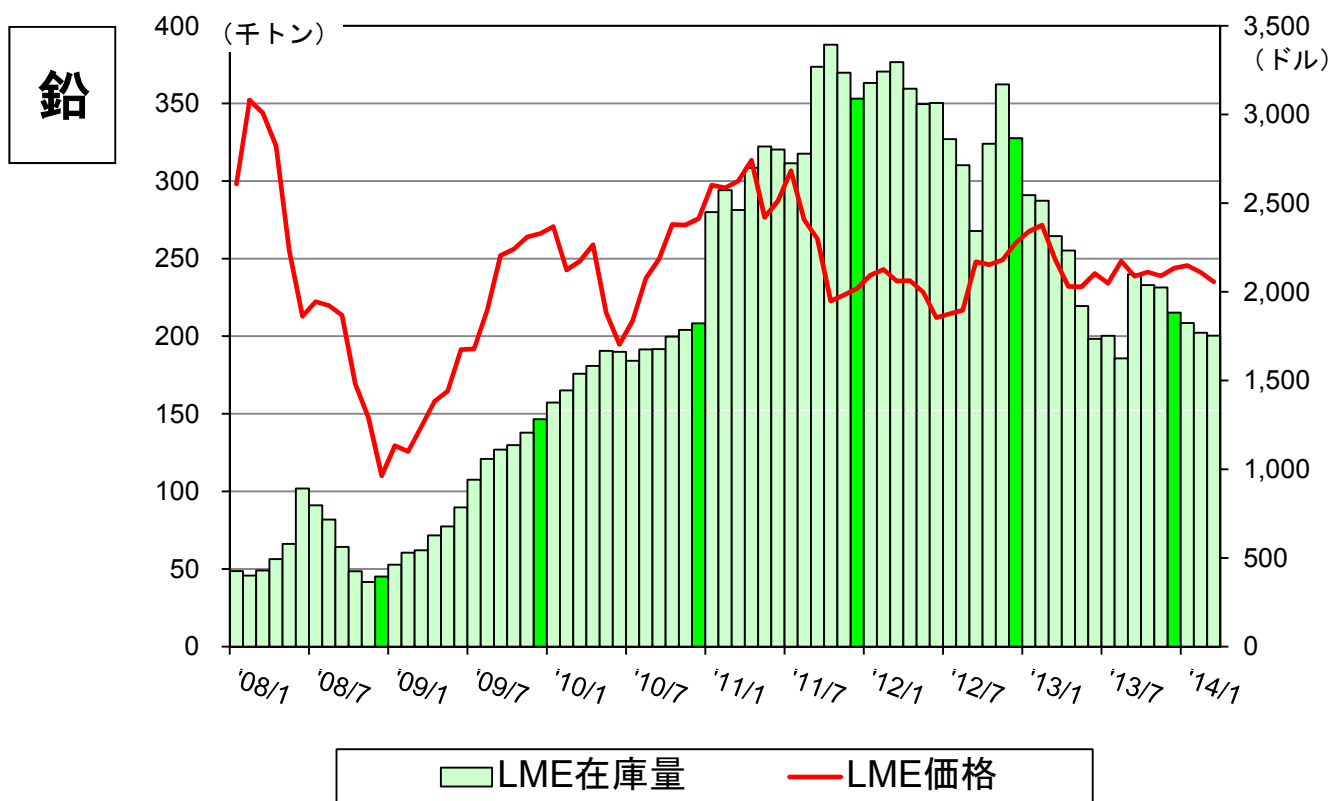
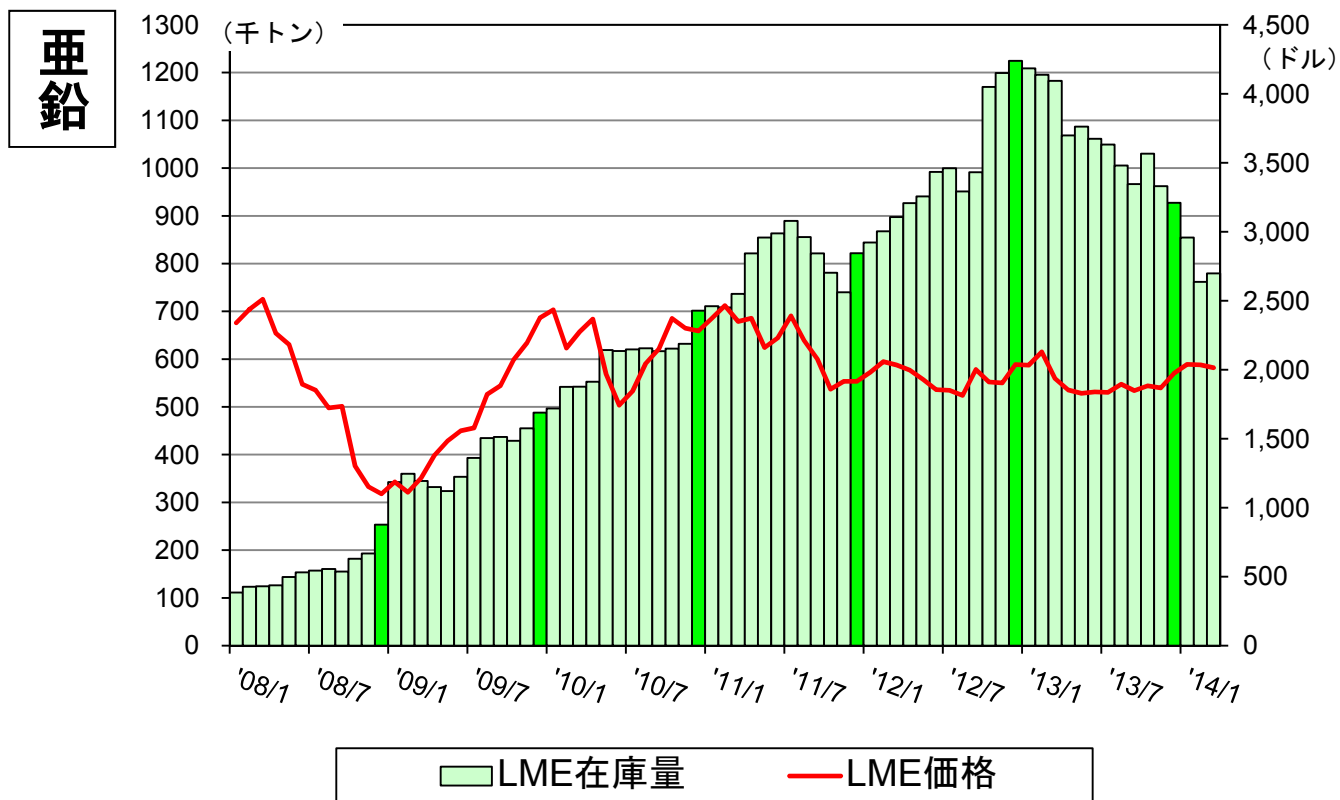
出典 経済産業省資源エネルギー庁

鉛（国内計）



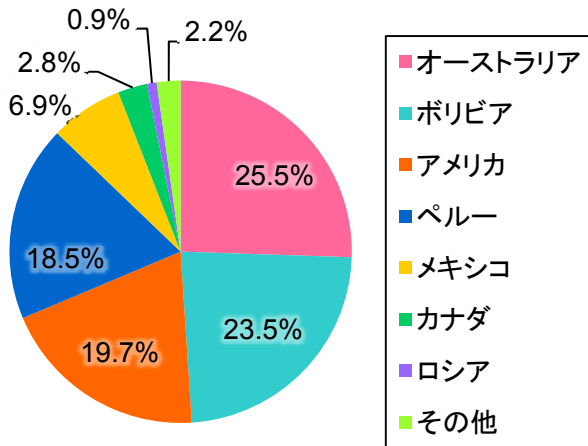
出典 経済産業省資源エネルギー庁

### 3. 亜鉛・鉛の価格と在庫の推移



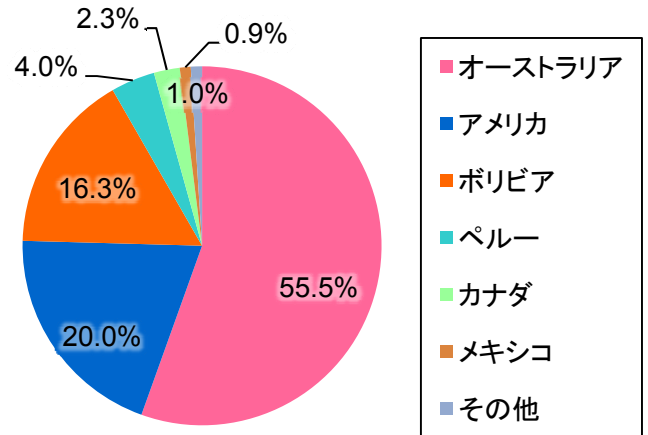
## 4. 亜鉛・鉛の鉱石輸入と国内需要

日本の亜鉛鉱石の輸入国  
('13年 合計471,998t)



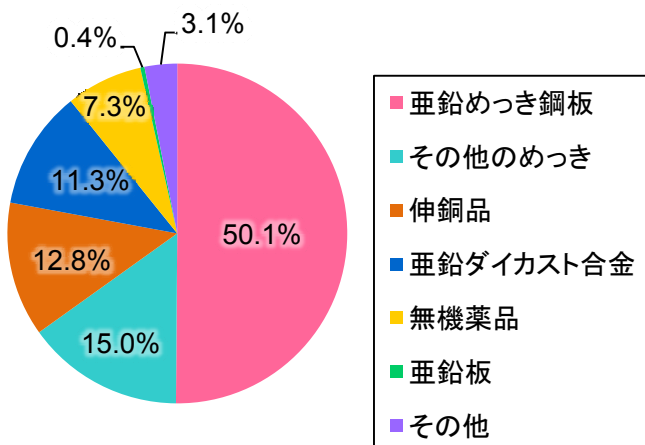
出典 経済産業省  
資源エネルギー庁

日本の鉛鉱石の輸入国  
('13年 合計90,352t)



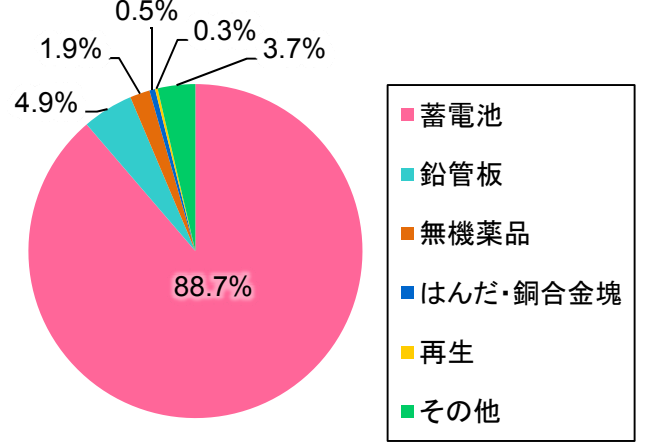
出典 経済産業省  
資源エネルギー庁

亜鉛の国内需要  
('13年 合計382,306t)



出典 経済産業省  
資源エネルギー庁

鉛の国内需要  
('13年 合計209,210t)

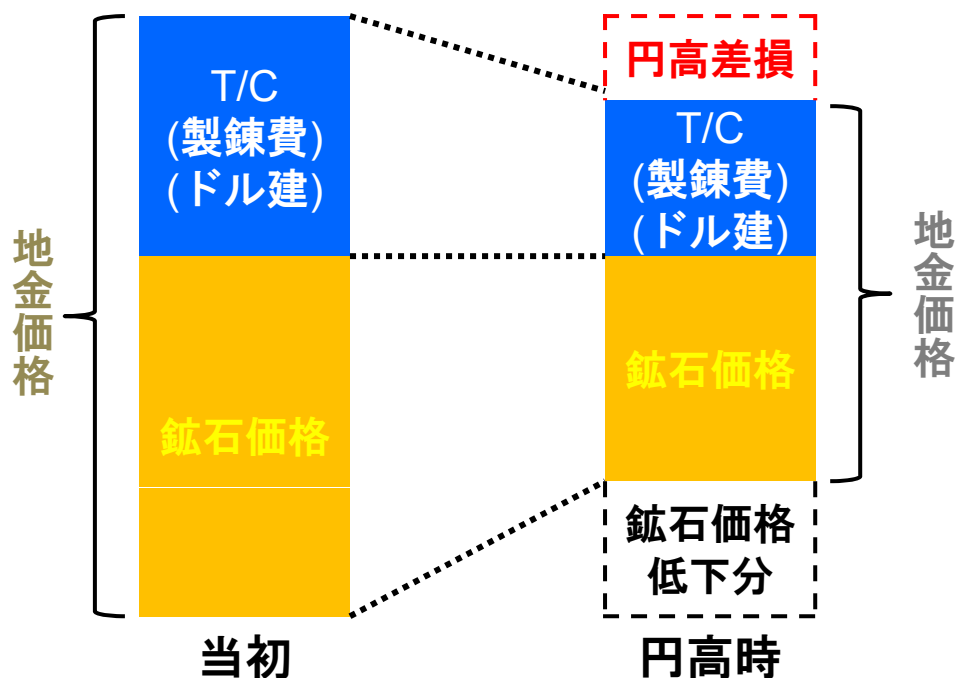


出典 経済産業省  
資源エネルギー庁

## 5. 製錬事業の収益構造

### 主な収益要因

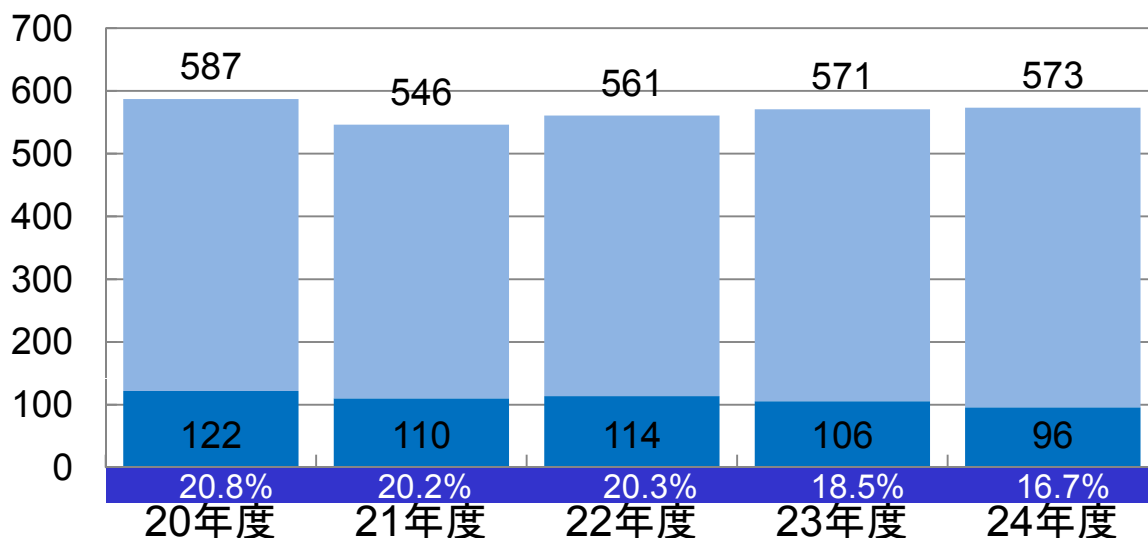
- (1) LME (ロンドン金属取引所)
- (2) 為替レート
- (3) T/C (Treatment Charge)  
(製錬費)
- (4) 採収差量



- 国内価格はLME価格（ドル建）に連動しているの  
で、円高になるとその分地金価格は下落し、売上高  
が減少する。
- 海外鉱山会社との買鉱交渉による当社の取り分であ  
る製錬費（T/C）がドル建なので、円高になると  
その分手取りが減少する。

## 6. 製錬業界における当社の位置

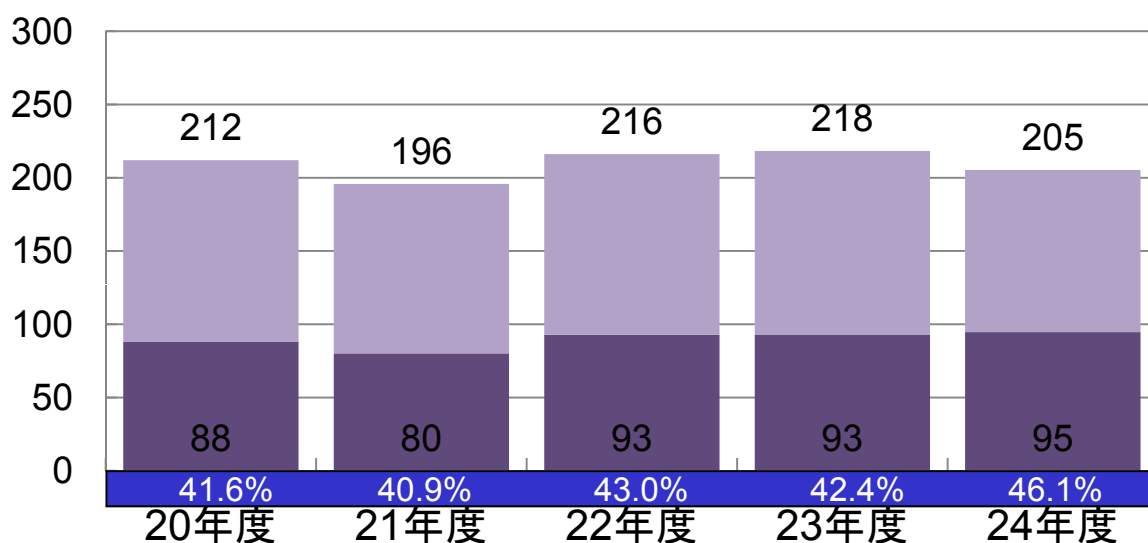
亜鉛国内生産量 (千t)



出典 経済産業省資源エネルギー庁

■ 当社 ■ 国内他社

鉛国内生産量 (千t)



出典 経済産業省資源エネルギー庁

■ 当社 ■ 国内他社

## 7. 主要製品の用途と売上の推移

### 主な用途

亜鉛	亜鉛メッキ鋼板、一般メッキ、ダイカスト、伸銅品
鉛	バッテリー、電線、無機薬品、鉛管板
銀	フィルム、はんだ、メッキ
酸化亜鉛	ゴム(タイヤ)、フェライト、触媒
硫酸	化学肥料、合成繊維、化学工業薬品、石油精製
電子部品	産業機器、OA機器、車載電装品、パソコン
電子材料 《プレーティング》	接点およびコネクタ (携帯電話、デジタル機器、車載電装品)
《電解鉄》	特殊合金、超耐熱鋼、磁性材料、触媒

### 製品別売上の推移(連結)

	上段：数量 (t)      下段：金額 (百万円)					
	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
亜鉛製品	121,519 24,136	121,704 25,027	127,370 27,283	100,572 19,524	107,578 20,366	115,149 25,478
鉛製品	81,472 16,942	83,741 17,578	94,069 20,901	91,994 19,595	87,884 18,367	90,833 22,942
電気銀	320 14,685	308 14,519	347 22,701	342 30,651	353 29,053	363 25,064
硫酸	252,573 1,580	242,654 1,221	246,782 1,398	239,056 1,468	260,134 1,689	238,363 1,637
鉱石販売	—	—	—	—	129,020 11,034	146,145 14,085
電子部品	3,446	2,908	3,890	2,974	2,706	2,818
電子材料等	4,380	3,761	4,471	4,228	3,890	4,113
環境・リサイクル製品	5,160	4,309	4,853	2,994	4,350	4,921
防音建材	2,005	1,754	1,874	2,016	1,924	2,253
完成工事高	4,246	3,284	4,279	4,701	2,619	3,324
その他	16,101	9,224	11,974	17,759	7,650	11,978
合計	92,685	83,592	103,628	105,914	103,654	118,619